住宅改修助成を実施します

俱知安町では、昨年度から引き続き次の3つの住宅改修助成を実施し、快適な住環境の整備及び町内建設産業の振興と雇用の安定を図ります。

◆住宅改修促進補助制度（リフォーム助成制度）

補助対象工事：改修費用が50万円以上（消費税等を除く）の工事

補助金の額：改修費用の10分の2（上限20万円）

◆バリアフリー住宅改修促進補助制度

補助対象者：

65歳以上の高齢者又は当該高齢者と同居・同居を予定している者
身体障害者又は当該身体障害者と同居・同居を予定している者

補助対象工事：バリアフリー工事全般

補助金の額：改修費用の10分の2（上限20万円）

◆耐震診断・耐震改修促進補助制度

補助対象者：

昭和56年以前着工の住宅で、これから耐震診断・改修を行うもの

補助対象工事：耐震診断、耐震改修工事全般

補助金の額： 耐震診断：診断費用の2分の1（上限10万円）

耐震改修：改修費用の10分の2（上限20万円）

ただし、租税特別措置法第41条の19の2に規定する所得税額の特別控除を受ける場合は、その額が耐震改修補助金額から差引かれます。

他にも町税等に滞納が無いことや、施工業者を町内業者に限定するなど各種要件があります。

詳しくは町住宅都市課住宅係 ☎ 56 - 8012 まで。

・旭ヶ丘公園多目的広場が有料になります（4月1日より）

利用の方法によっては割増し料金がかかる場合があります。

専用使用する場合は、使用許可が必要ですので、総合体育館へ使用申請書を提出してください。

<使用料>

区分	早朝	午前	午後	夕刻
	午前8時まで	午前8時～正午	正午～午後5時	午後5時以降
多目的広場	1,000円	2,000円	2,000円	1,000円

総面積の2分の1を超える場合、上記に掲げる金額

総面積の2分の1以下の場合、上記に掲げる額の2分の1

・屋内体育施設利用団体の募集

平成23年度前期（5月～10月）の学校体育館・町総合体育館の利用希望団体を募集します。

利用条件を確認のうえ、町総合体育館にある申請書に必要事項を記入し団体名簿を添えて体育館事務室に提出してください。

申請期日 平成23年4月17日（申込場所：俱知安町総合体育館）

利用条件

- ・スポーツを目的に10名以上で組織する団体
- ・町内に在住、または在勤し、若しくは在学するものが組織する団体
- ・責任者として成人が含まれている団体
- ・上記の全ての条件を満たす団体

詳しくは町総合体育館 ☎ 22 - 2288 に問い合わせください。

●総合体育館からお知らせ

4月1日から町保健福祉会館で交付 ハイヤー・バス利用助成券

高齢者のハイヤー・バス券の支給枚数は、前年度の介護保険料の負担段階により変わります。

介護保険料負担段階（平成22年度）	夫婦世帯 同居世帯	単身世帯
第1～第4段階	15,900円 (30枚)	10,600円 (20枚)
第5段階	10,600円 (20枚)	
第6段階	対象外となります。	

対象者（4月1日現在）

平成22年度の介護保険料負担段階が第1～第5段階の世帯で、

満70歳以上の単身世帯

どちらかが満70歳以上の夫婦世帯

満70歳以上の高齢者がいる同居世帯

ただし、次に該当する世帯は除きます。

高齢者本人か配偶者が自家用車を所有、

または使用している世帯

平成22年度の介護保険料の負担段階

が第6段階の世帯

手続きに必要なもの

印鑑、健康保険証、平成22年度の介護保険料負担段階のわかるもの

問 福祉課地域包括支援センター ☎ 23 - 0100

障がい者ハイヤー（バス）利用助成券

町では下記該当者に対してハイヤー（バス）利用助成券を交付します。

助成対象者

身体障害者手帳交付者のうち視覚・心臓・腎臓・肝臓障害各1級、肢体障害（体幹）1～2級 肢体障害（下肢）1～3級

知的障害者（療育手帳A判定）

精神障害者（1級）

助成額（枚数）= 年額14,100円（30枚）

の腎臓1級で人工透析のためにハイヤーにより通院する人は、月額28,200円を限度に助成します。

手続きに必要なもの

印鑑、身体障害者手帳、療育手帳

精神障害者保健福祉手帳

問 町福祉課福祉係 ☎ 23 - 0500